

大学生の介護体験・応用実習

11月は、芸術短期大学の介護体験、大分大学教育学部特別支援コースの応用実習を続けて受け入れました。子供たちにとって学生さんとの触れ合いはとても楽しい時間となり、学生さんにとっては子供たちとの出会いはかけがえのない体験になりました。

11/8～9 大分県立芸術文化短期大学美術科・音楽科の介護体験（幼・小・中学部）



←幼稚園のみんなで芋掘りをしました。学生さんと一緒に芋を掘ったり、芋のツルで遊んだりしました。



←中学部音楽の時間にトランペットとピアノの生演奏を聞きました。きれいな音色が心地よかったなど感想を発表しました。

11/15～17 大分大学教育学部特別支援コースの応用実習（小学部）



【応用実習を終えて】

- ・子供たちの第一印象は、表情が豊かで優しいということです。
- ・これまで聴覚に障がいのある子供とかかわったことがないので、どうコミュニケーションをとったらいいか不安でした。手話の分からない私たちに対して指で字を書いたり、口を大きく動かしたりして、一生懸命に伝えようとしてくれる姿をととてもたくましく感じました。
- ・子供たちとコミュニケーションがとれた時とてもうれしくて、もっとたくさん手話で会話したいという気持ちが強くなりました。
- ・教科学習をしているところがとても勉強になりました。聾学校ならではの配慮を見ることができ、言葉の概念を教える難しさを学びました。
- ・いろいろな障がいについて勉強したいと思うようになりました。大学に帰って頑張ります。